

サギ電話に気をつけて！

市役所地域づくり推進課
055(948)1412

◆サギ電話は必ずかかってくる

振り込め詐欺など特殊詐欺の被害が増加しています。その被害の始まりは、ある日、突然かかってくる犯人からの電話です。

誰しも、人生の中で一度や二度は、何かしらの名簿に自分の名前や住所を載せたことがあるはず。犯人はその名簿を何らかの方法で手に入れ、次から次へと電話をかけます。そのため、いつ、誰の家に犯人から電話がかかってきてもおかしくありません。

市内でも増加傾向

市内のサギ電話件数は平成29年1月～9月の間で120件。前年の同期間から28件増加しています。また、人口1万人あたりの件数としては、県内市町で8番目に多くなっています。(静岡県警察ホームページより)

◆振り込め詐欺のだましの手口

息子や孫などを装ってあなたに電話をかけ

①不安のどん底に突き落とす
例：「会社のお金に手をつけてしまった、会社をクビになる」「このままだと逮捕されてしまう」

②解決策を示して安心させる
例：「〇〇万円あれば会社をクビにならずに済む」「お金を返せば捕まらない」「取引先に支払いができれば助かる」

③冷静に考えることのできる時間を与えずに、現金やキャッシュカードを持ってこさせる・取りに行く・現金を振り込ませる
例：「〇〇駅にお金を持ってきて」「自宅までお金(キャッシュカード)を取りにい」「今すぐに必要、すぐにお金を振り込んで」「今日中に払わないと間に合わない、なんとかして」

※作り話の中身や登場人物が変わっても、この「流れ」は変わりません。

◆詐欺だと見抜くポイント！

●不安のどん底に突き落とされたら詐欺！



●お金やキャッシュカードの話になったら詐欺！



◆サギ電話対策のアレコレ

被害の入口は「家の電話」です。サギ電話に出なければ、被害にも遭いません。家族で対策を考えてみましょう。

●「携帯電話の番号が変わった」と言われても、必ず以前の番号に連絡して確認

●「すぐにお金が必要」と言われても、慌てずに、本人に確認、家族に相談

●「代わりの人にお金を渡して」と言われても、知らない人にお金を渡さない



●家族だけの合言葉を決めておく、家族の連絡先を複数用意しておく、日ごろから連絡を取り合う



※不審な電話があったときは、すぐに警察へ通報してください。

サギ電話に出た誰もが、被害者になる恐れがあります。特殊詐欺の被害を自らのこととして、常に心の備えをしておきましょう。

●知らない番号や番号非通知の電話には出ない
ナンバーディスプレイ機能を活用しましょう。登録番号以外着信拒否や非通知拒否の設定が効果的です。

●在宅でも留守番電話に設定する
犯人は、録音で声が残ることを避けようとします。必要な電話には、声を聞いてからであれば大丈夫です。

●サギ電話対策機器が市販されています

- ①シャットアウト型…あらかじめ登録された悪質な相手からの電話を遮断します。
- ②録音警告型…「通話内容を録音します」と相手に警告メッセージを流します。
- ③呼びかけ型…着信時に「詐欺電話・迷惑電話に注意」と呼びかけます。

『安全で安心なまちづくり推進月間』とは

12月は街頭および侵入犯罪などの発生に加え、忘年会シーズンに伴う飲酒運転による交通事故、また、空気の乾燥による火災の発生など、市民の皆さんの生活に危害がおよぶ危険性が高まる時期です。

そこで市では、12月を『安全で安心なまちづくり推進月間』と定め、警察・消防などの関係機関と連携し、家庭や地域での安全で安心な生活環境の維持・確保を強く呼びかけていきます。市民の皆さんも、普段からの戸締まりや火の元の確認などを心掛けてください。



12月15日(金)から31日(日)までの17日間は「年末の交通安全 県民運動期間」です

スローガン
「安全をつなげて広げて 事故ゼロへ」

☆「おもいやり ありがとう」人優先の運転を心掛きましょう。
☆「ピカッと作戦、午後4時のライトオン」を実行しましょう。
☆飲酒運転は絶対に「しない」「させない」、運転する人にお酒を「飲ませない！」

運動の初日(12月15日(金)7時～7時30分)に市内10カ所の交差点で早朝一斉街頭広報を実施します。(雨天中止)